

学生が企画・デザインしたエコグッズを大学生協で割引販売 千葉大独自のレジ袋有料化に伴う環境基金を活用

年間利用者110万人以上の生協でレジ袋購入率はたった**0.6%**

国立大学法人千葉大学の環境ISO学生委員会は、毎年、千葉大生協のレジ袋の有料化に伴う「れじぶー基金」を使って、学内に向けた環境活動を展開しています。本年度は三菱製紙販売株式会社と協同で企画した間伐材シャープペンシルと、学生がデザインしたエコバッグを1月27日から生協にて割引販売することになりました。

■商品は「間伐材シャープペンシル」と「エコバッグ」

間伐材シャープペンシル 150円(税込) 販売個数：370個

環境ISO学生委員会の学生と三菱製紙販売株式会社が協同で製作。学生の提案で数ある間伐材商品の中から、学生がよく使用するシャープペンシルにしました。間伐材を通じて適切な森林管理である「木を切る環境保全」を広めることを目的としています。グリップ部分には学生達が考えた言葉「Think of sustainable use of forests.」と書かれています。(材質：ヒノキ、ペン金具 サイズ：径8mm、長さ160mm)

エコバッグ 200円(税込) 販売個数：290個

学内の教職員や学生に対してエコバッグの利用を推進し、ごみの削減に対する意識啓発を目的とし、環境ISO学生委員会の学生が企画からデザイン、販売促進までを担当しました。表部分のメッセージは学生が考えた「Complete the map! WE are the artists of the earth.」です。(材質：ポリエステル サイズ：365×360×120mm ポーチ付き 色：紺)



▲グリップ部分がヒノキで、ペン先も金具なので書き味なめらかで疲れず長持ちする

■千葉大独自の「れじぶー基金」による割引販売の仕組み

千葉大学では環境ISO学生委員会の発案により、2006年度から大学生協におけるレジ袋の有料化(1枚5円)を実施しています。

現在、物販店舗だけで年間110万人以上が利用する千葉大生協におけるレジ袋の購入は年間7,000枚程度で、平均購入率は0.6%。「レジ袋無し」が当たり前となっています。

これによりこれまでレジ袋の購入に充てられていたお金と、レジ袋の販売収入を「れじぶー基金」として生協から拠出いただき、環境ISO学生委員会が、レジ袋削減にご協力いただいた学内の学生や教職員に対し、エコグッズの割引販売など、さまざまな環境活動で還元しています。今回もグッズ販売のために約15万円を基金から捻出して割引に充て、学生にも買いやすい価格で販売することができました。



▲コンパクトポーチ付きで持ち歩きやすい仕様

■千葉大学環境ISO学生委員会とは

2003年千葉大学でISO14001認証取得への動きが始まるとともに発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内の基礎研修講師、環境目的・環境目標・実施計画の原案作成、内部監査、外部審査対応、環境報告書作成、省エネ省資源・緑化・堆肥化等の活動、地域との連携、意識啓発活動などを担当。西千葉・亥鼻、松戸・柏の葉地区に分かれて活動。2009年NPO法人格も取得。所属学生は約150名。指導教員は倉阪秀史(千葉大学大学院人文社会科学部研究科教授)

取材のお申込み・本件に関するお問い合わせ

千葉大学環境ISO事務局 担当：岡山

TEL:043-290-3572 メール：kankyo-iso@office.chiba-u.jp